

名古屋市会議員 活動報告②5

田山ひろゆき



～2月定例会 代表質問のご報告～

●「名古屋城デスティネーションイヤー」の取り組みについて

【質問】名古屋城との回遊性向上の取り組みにあたり、戦略で定められた「名古屋城を核とした2つの魅力軸」の狙いは何でしょうか。

また、名古屋城と魅力軸の回遊性を高めるために、具体的にどのような仕掛けを行うのでしょうか。名古屋城の入場者を増やすための方策についてもお尋ねいたします。(要約)



生涯学習センターにて 北区なごやかクラブ連合会の体力測定に参加。2月14日



飯田学区自主防災訓練に参加。3月18日



広島市役所議場にて 議会運営委員会視察に参加。1月30日

平成30年度予算 定例議会の報告を朝一番に 黒川交差点にて。3月10日



【答弁】名古屋には、名古屋城、熱田神宮、名古屋港水族館など数多くの歴史・文化資源や観光施設がありますが、それぞれの魅力が個々の発信にとどまっていたのが現状です。

そのため、「名古屋魅力向上・発信戦略」において「歴史・文化魅力軸」と、「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの南北に延びる魅力軸を定め、名古屋城と魅力軸上の観光施設等が相互に連携し、発信力を高め、回遊性の向上を図ることをねらいとしています。

名古屋城と魅力軸の回遊性を高めることにつきまして、今年度は「歴史・文化魅力軸」については、あつた朔日市において、名古屋城や有松のPRを行うとともに、清須から名古屋城を通り桶狭間へ至る「信長攻路事業」や名古屋城と熱田・四間道とを堀川で繋ぐ社会実験などを実施いたしました。「まちづくり・ものづくり軸」については、レゴランド・ジャパンが昨年4月に開業し、名古屋港の新たな魅力に加わったこともあり、名古屋城と名古屋港地区を繋ぐ魅力の発信方法について観光施設等の関係機関とともに検討してきたところです。来年度は、引き続き熱田・四間道とを堀川で繋ぐ社会実験を行うほか、「ものづくり」や「日本一」をテーマとした名古屋城から名古屋港を巡る新たな回遊策として、観光とスポーツの融合したイベント等に取り組んでまいります。

平成30年度は、今月末からオープンする金シャチ横丁の開業、木造復元工事に伴う天守閣の閉鎖、そして本丸御殿の全体公開など、名古屋城において近年にない重要な一年になると考えており、「名古屋城デスティネーションイヤー」と位置付けております。そこで名古屋城へ一層足を運んでいただくために、今年度より行ってきた民間事業のアイデアやノウハウを活用し年間を通じた多彩なイベントの開催に加え、来年度からは開園時間の延長にも取り組んでまいります。(要約)

名古屋市会議員
田山ひろゆき
事務所

- 事務所／〒462-0841 名古屋市北区黒川本通4-23
- 電話／052-911-1736
- FAX／052-911-1760
- Eメール／tayama@zb4.so-net.ne.jp